北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	髄膜腫栄養血管塞栓術前後の画像的特徴から栄養血管塞栓術の有効性を検討するための単施設後方視的検討(B22-040)
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部脳神経外科学　主任教授　隈部　俊宏
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	髄膜腫は一般的には良性腫瘍とされていますが、手術による摘出が必要になる症例も少なくないです。手術に先立ち術中出血量を抑える目的で腫瘍栄養血管塞栓術を行うことは広く認知されており、その有用性は証明されています。 栄養血管塞栓術自体は有効な治療法ですが、症例によっては有効な塞栓を行えないこともあります。栄養血管の同定や塞栓術自体も侵襲を伴う医療行為なので、効果が見込めない場合には極力避けたいものです。事前にこの有用性を評価する方法として、我々は腫瘍内の血流を測定する非侵襲的な MRI での Arterial Spin Labeling(ASL)法という撮影法に注目しました。 本研究の目的は、ASL 法を含めた MRI での髄膜腫の画像的特徴と、腫瘍自体の血流量、塞栓可能な栄養血管の有無、栄養血管塞栓術の有効性に関連があるかどうかを検討し、実臨床において、摘出前腫瘍栄養血管塞栓術の有効性を個別の症例で予測することです。
調査データ 該当期間	2013 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内にテント上髄膜腫に対し当院で初発開頭腫瘍摘出術を行う前に、脳血管造影検査と ASL 法での撮影を行なった患者さん。
研究の方法 （使用する試料等）	2013 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：　研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の研究資金は北里大学医学部脳神経外科学医局研究費及び財団助成金を使用します。 利益相反については北里大学利益相反委員会で審査を受けた上で、適切に管理されます。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部脳神経外科学　助教 担　当　者：重枝　諒太（シゲエダ　リョウタ） 電　　話：042-778-9337
備　考	